

令和7年度
地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中間支援ギャザリング資料（中間支援振り返りシート）

活動テーマ

『西蒲区発のローカル公民連携プラットフォーム』

活動団体の活動地域：新潟県新潟市西蒲区

活動団体名：株式会社And three

中間支援主体名：新潟市

中間支援主体としての獲得目標と達成状況

■ 中間支援主体としての獲得目標 【R7年度当初目標】

市役所の強みである、各部署の専門性（タテ・本庁機能）と、それらを地域に展開する区役所（ヨコ）という、守備範囲の広さを活かしていく。また、活動団体が突き当たる障害に各部署のリソースをもって柔軟に対応するとともに、活動団体の活動状況に合わせて中間支援の体制も再構築する。本事業を通じて、新潟市西蒲区における地域循環共生圏構築モデルを獲得するとともに、新潟市としての地域づくりの在り方を検討する。

■ 中間支援主体としての獲得目標に対する振り返り（目標達成状況）

・西蒲区地域総務課、政策企画部、政策調整課、環境政策課が、それぞれの事業分野で可能な支援を提供しながら、「ローカル公民連携プラットフォーム」に実装する行政の組織や人材の在り方を検討した。

【組織面】地域循環共生圏づくりが求める分野横断的で切れ目のない取り組みに対し、権限や責任が細分化された行政組織の中では、従来の部局間調整のみで、中間支援の包括性やスピード感を十分に担保することにいまだ課題がある。また、精緻な計画の策定と遂行を重視する行政と、試行錯誤をしながら柔軟に事業を進める民間とのスタンスの差があり、これらを埋めるための「緩衝材」のような組織体の重要性を認識した。

【人材面】行政の立場から、民間の動機や想いを公共的な価値へとつなぎ、多様な主体の自発的な行動変容を促すような職員の資質が求められている。単に制度の守り手に留まらず、かつ組織を飛び出す個人でもない、「第三の職員」の重要性を認識した。

・上記「緩衝材」組織や「第三の職員」の具体化については、市の自主研究グループやローカルドリンクスといった公民越境の場に参加する職員などと対話し、引き続き検討していく。

中間支援機能ごとの振り返り

チェンジエージェント機能		R7獲得目標（R7年度当初設定） 高めたい機能（◎/○）とその理由		現状の自己評価（R7年度末時点） 自己評価（◎/○/▲）とその理由	
変革促進	物事を整理する	◎	取組みをより円滑化させるため	○	取組みの意義や公共性等について壁打ちした。
	意味づける	○		○	取組みの意義や公共性等について壁打ちした。
	癒しとなる	○		○	
	見通しをつける	○		○	
プロセス支援	話を聞く	◎	壁打ち相手となり気づきにつなげるため	◎	定期・不定期のMTGにより、継続的に対話した。
	場を開く	◎		◎	関係者と連携を図った。
	喝を入れる	○		▲	スケジュール・段取りの不足。
	現在地を確認する	○		○	
資源連結	新しい人を入れる	◎	事業を行うための必要人材の確保	○	状況に応じ必要な協力を求めた。
	事例を紹介する	○		○	企画運営に必要な情報を提供した。
	引き出す	○		○	
	拡散する	○		◎	市の多様な広報媒体を活用し、情報を拡散した。
問題解決提示	文字や図に落とす	○		▲	マンダラの整理を引き続き行う必要がある。
	問いを立てる	○		○	
	会議を進行する	○		◎	定例MTG等の会議の進行を滞りなく行う。
	落としどころを探る	◎	理想と実現可能なことの落としどころを探る必要があるため。	○	着実な事業進行のための落としどころを対話した。
その他	※必要に応じて追加				

今後の中間支援主体のありたい姿

■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献 【R7年度当初目標】

新潟市として、本庁－区役所－地域が連携した今後の地域づくりのモデルを検討し、西蒲区から他区への横展開を図ることで、地区ごとの自治機能の向上につなげる。

■ 地域づくりに貢献していくために、今後、どうなりたいか

目指す姿	目標達成に向けた、次年度の行動	チェンジエージェン ト機能での分類
・ 行政が持つ資源を有効活用し、活動団体が地域課題解決の実績を積み上げることをサポートし、新潟市内で横展開するための好事例となる。	・ 活動や課題の現場でのフィールドワーク ・ 人と自然との関わり、環境を起点とした課題解決の取組整理	・ 話を聞く ・ 新しい人を入れる ・ 拡散する
・ 行政の中間支援の質向上のため、地域の一員として対話できる人材を増やす。	・ 公民越境の場としてローカルドリンクスへの参加促進 ・ 人材育成との連携模索	・ 物事を整理する ・ 新しい人を入れる ・ 拡散する

■ 地域づくりに貢献していくために、外部地域や関係者と連携や協力したいこと

・ ローカルドリンクスやローカルシフト等の企画を連携して行える機会をいただきたい。
・ 行政の中間支援人材を発掘・確保し、外部地域や関係者との交流・情報交換などにつなげていきたい。